

学習指導要領		都立青井高校 学カスタンダード
<p>(1) 世界史へのいざな</p>	<p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の文化が日本に様々な影響を与え、日本人がそうした文化・技術に工夫を加えたことを知る。 ・人類が次第に技術を獲得し、その生活圏を拡大させていった過程を知る。 ・歴史の基礎知識として、世界地図の読み取り方や時代区分、暦、国名の省略記号等を知る。

学習指導要領		都立青井高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p>	<p>ア ユーラシアの諸文明</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在でも使用されている、漢字・漢文・漢人などといった語句から、漢王朝が日本に与えた影響について知る。 ・中国を中心とする東アジア国際秩序を支える制度として、朝貢・冊封関係の重要性を知る。 ・モンゴル帝国の成立が、中国のみならず周辺地域に対してどのような影響を与えたか知る。 ・南アジアの風土・民族の多様性に気づき、歴史を通じて北インドと南インドに相互に異質な社会が形成されたことを知る。 ・文字や宗教の壮士に見られるような、西アジア・東南アジア世界が人類史の歩みに与えた影響を知る。 ・オリエント・ギリシア・ローマ世界の特徴や違いに気づき、それぞれの世界が地中海周辺の国々のみならず他地域に影響を与えたことを知る。 ・古代から中世におけるヨーロッパの歴史を理解し、当時の社会状況について知る。 ・大航海時代に続く西欧諸国の世界各地への進出・支配の進展という形で、真の意味での世界の一体化が始まる背景を理解する。 ・アメリカ先住民の国家・文明が、少数のヨーロッパ人の手で滅ぼされてしまった理由を知る。 ・近代世界の開幕を、世界観・人間観を含む文化・思想を告げるものとしてルネサンスをとらえ、おの巨大な歴史的意義について知る。 ・宗教改革のはじまりと諸地域世界への影響を考察し、現代にまで続く宗教対立の問題について知る。 ・絶対王政や議会政治と言った語句からヨーロッパ主権国家体制について知る。 ・啓蒙思想誕生の背景を多面的にとらえ、その後のヨーロッパに与えた影響を知る。 ・アメリカ・フランス・イギリスで起こった革命について、その原因と過程、革命後の社会について知る。

学習指導要領	都立青井高校 学カスタンダード
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀ごろに形成され始めた世界資本主義のシステムが、その範囲を次第に拡大し、19世紀には、日本の開国などによって、ほぼ世界全体がその中に包摂されたことを知る。 ・中国や日本を中心とするアジア諸国の近代化について、ヨーロッパの状況と比較しながらその歴史を知る。 ・帝国主義の始まりやその過程、現代にまで影響を与えているアフリカ分割について知る。 ・植民地獲得競争を背景とする列強間の対立・抗争が、同盟関係の積み重ねを通じて陣営間に系列化されていく仕組みを知る。 ・日本と清、ロシアとの戦争や条約関係から世界のなかでの日本の立ち位置を確認し、日本がのちの世界大戦に組み込まれていく様子や流れについて知る。

学習指導要領		都立青井高校 学カスタンダード
<p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本</p> <p>イ 世界戦争と平和</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向</p>	<p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次産業革命の特徴を整理し、その結果どのような状況が生じたか知る。 ・植民地・従属地でも民族資本家が育ち、民族運動・独立運動を開始したことを知る。 ・現代大衆社会の原型である1920年代のアメリカに注目し、日本における大衆社会の成立（高度成長期）とのタイムラグの大きさを知る。 ・バルカン半島を舞台とする局地的紛争が、ヨーロッパの全主要大国を巻き込む大戦争に発展した原因・経過を知る。 ・ソヴィエト政権が世界革命、先進ヨーロッパ革命の展開にかけた期待の大きさに気づき、これが革命の進行に与えた影響を知る。 ・ヴェルサイユ・ワシントン両体制のしくみとドイツ経済の立て直しについて知る。 ・アメリカで始まった恐慌がなぜ世界に広まったかについて、戦時債務の国際的流れの図を参考にしして知る。 ・ファシズムの形成やミュンヘン会談開催時の列強の思惑、独ソ不可侵条約締結の背景に気づき、それらが世界に与えた影響の大きさについて知る。 ・満州事変から当時の日本と中国をはじめとする世界各国の状況を考察し、第二次世界大戦に向かう国々の様子を知る。 ・第二次世界大戦発生の原因に関心を持ち、直接の原因、根本的な原因を挙げるとともに、最終的に日本はなぜ強大なアメリカとの戦争に踏み切ったのかを知る。 ・ポツダム宣言受諾までの経緯と原子爆弾投下の様子を確認し、戦争がいかに悲惨なものであったかを知る。 ・冷戦の開始と第三世界のはじまりについて、東西両陣営が世界中に張り巡らした集団安全保障のネットワークを知る。 ・ペレストロイカから東欧革命、ソ連解体に至る複

学習指導要領	都立青井高校 学カスタンダード
<p>アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>雑な過程を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戦後のアジア・アフリカで多数の独立国家が誕生したことに関心をもち、それらがいつ、どの宗主国から独立したのかを知る。 ・冷戦終結やそれに伴う急速な世界のグローバル化について、世界各国の状況を考察しつつ、そのなかでの日本の立ち位置について知る。 ・EUの拡充や中東情勢、中国の台頭について調べ、現代にまで影響を及ぼしている国際関係やその発展過程について知る。 <p>・インターネットが普及し手軽に情報発信ができるようになった現状を踏まえ、そうした技術の主体的利用法について知る。</p> <p>・地球環境と新興国の経済問題を考慮したうえでのエネルギー問題について知る。</p>

